



2023年2月6日

各 位

会社名 日本ケミコン株式会社
代表者名 代表取締役社長 上山 典男
(コード番号 6997 東証プライム)
問合せ先 取締役 石井 治
(TEL. 03-5436-7711)

営業外費用の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2023年3月期第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)において、下記のとおり営業外費用(為替差損)を計上するとともに、2022年8月4日に公表いたしました2023年3月期連結累計期間(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 営業外費用(為替差損)の計上

昨今の為替相場の変動により、2023年3月期第3四半期連結累計期間において、為替差損11億27百万円を営業外費用に計上いたしました。

なお、上記の金額は、2023年3月期第3四半期末時点での為替相場による為替差損であり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

2. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	155,000	9,300	8,800	3,000	147.94
今回発表予想(B)	160,000	11,500	9,500	3,500	172.60
増減額(B)-(A)	5,000	2,200	700	500	—
増減率(%)	3.2	23.7	8.0	16.7	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	140,316	8,798	8,038	△12,124	△597.88

業績修正の理由

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、上記1.に記載の為替差損の計上などがありましたが、戦略市場への高付加価値品の拡販や販売価格の是正及び構造改革の諸施策の実行による生産性の向上により収益性の改善を図り、売上高及び利益は前回予想を上回る見通しとなりました。

※本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料に記載した予想とは異なる可能性があります。

以 上